

中広中学校だより

平成22年12月13日(月) NO. 14

校訓・・・清純・平和・希望

学校教育目標・・・「心身ともに健康で、社会に役立つ自主的行動のできる生徒を育成する」

広島市立中広中学校

一年の計は、元旦にあり

いよいよ年末、何かと気ぜわしい街中の雰囲気です。師走と聞くと、1年が終わっていくという印象です。各ご家庭でも、大掃除に始まり、年賀状の準備など、お正月を迎える準備に余念がないこととお察しします。いずれにしても、何はさておいても、「健康・安全第一」です。事故や怪我が無く、健康で元気に新しい年を迎えることが何より大切です。そのためにも、日頃の体調管理には十分気を配っておきましょう。

いよいよ追い込み・・・頑張れ3年生！

12月11日(土)から、3年生の自学自習勉強会が午前9:00～12:00の間の設定で始まりました。初日から30名弱の参加で、3年1・2組には「やる気」があふれていました。

泣いても笑っても、残り時間は皆同じです。しかし、その時間を活かすか無駄にするかはその人次第です。また、その結果も全てその人に帰ってきます。これからの人生、中学校卒業前に自分の進路実現のために一生懸命になれないで、いつなれるでしょう。ここは「やるっきゃない!」のです。



頑張ってますよ、子どもたち！

☆ 平成22年度全国女子ジュニアの優秀選手に選出されました。

ソフトボール部の兼平真咲さん(2年2組)が上記の中央研修会(NTS:※)において、優秀選手に選出されました。日本ソフトボール協会(JSA)の公式サイトにも内野手として平成23年の1月後半に行われる台湾遠征の選手団員としてホームページにも紹介されています。全国から17名で、中国地方5県からは兼平さん1人のみという選出でした。

※ NTS:National Training System の略です。

☆ 税の作文が表彰されました。

先般本校から応募・提出した税に関する作文で、3名が表彰されました。

全国納税貯蓄組合連合会 会長賞 加藤 里菜 さん(3年4組)

中国税理士会広島支部 支部長賞 山田 姫子 さん(3年4組)

広島西税務署法人会 会長賞 松野 由佳 さん(3年2組)

加藤さんは全国表彰だそうです。

☆ こんなに読書しています。

前号で、読書の紹介をしました。本校の図書館に来ていただいている、図書アシスタントの松野先生に貸し出し冊数の集計をしていただきました。ベスト5は次の人たちでした。

第1位 黒葛原 雅 君(1年4組) 142冊 第2位 小島 諒 君(2年4組) 86冊

第3位 原 和樹 君(1年4組) 81冊 第4位 鳥越 悠香 さん(1年3組) 35冊

第5位 池田 拓哉 君(2年4組) 30冊

読書は思考の幅を広げ、興味・好奇心をかきたて、語彙を広げます。今回の国際学力テストにおいても、読書効果が大きいのではないかと報告・分析されています。

裏面に続く ⇒

☆ 第2回1日10時間勉強に挑戦！・・・達成者4名

第2回の10時間勉強が先月で終了しました。今回は4名が達成しました。午前7時から夜の9時までかかった人もいました。でも、そのことが自信になるのです。

□ 先般の社会を明るくする運動県民大会で紹介された作文を紹介します。同じ西区の小学生のものですが、大人が読んでもいい作品ですので、紹介します。

小学生の部・・・‘社会を明るくする運動’広島県推進委員会委員長(県知事)賞

「身のまわりのどうぞのいす」

己斐上小学校 6年 浅岡 圭吾

ぼくは、社会について考えた時、幼稚園のころに読んだ絵本『どうぞのいす』を思い出します。その本の内容は、ウサギさんが ちいさないすをつくって のはらのきのしたに、おきました。そのそばに「どうぞのいす」とかいた、たてふだもたてました。るひ、ろばさんが、どんぐりのはいったかごをおいて ひるねをしているうちに くまがやってきて、くまが どうぞとかいてあるので よろこんで食べてしまいます。でも、くまは「からっぽにしてしまつては あとのひとにおきのどく」と考えて、かわりに はちみつのびんをおいていきます。それから、きつねや、りすがつぎつぎにやってきて「どうぞのいす」にあるものをもらい、かわりにパンや、くりを おいていく物語です。絵本なので とても短い話ですが、とても大切なことが かくされています。「どうぞのいす」に出てくる動物たちは、自分たちも持っているものをおいていったのに、とても満足です。「どうぞのいす」は とても平和です。それはなぜでしょう。ぼくが思うには、それぞれが だれかに、どうぞという思いやりの気持ちをもらって だれかに、またどうぞという思いやりの気持ちをわたしているからだと思います。「どうぞのいす」の世界では思いやりの気持ちが循環しているのです。

それに比べて、今住んでいる世界はどうでしょう。悪口を言われたら言い返し、なぐられたら けりかえし、アメリカが核をもてば、イギリスや、フランスや、中国や、インドや、パキスタンがもち、北朝鮮も開発を進めているありさまです。「どうぞのいす」とは逆の、悪循環が平和を脅かしています。この世界に「どうぞのいす」があったとしたら、くりは食べちらかされ、いすとたてふだは どこかにもっていかれるかもしれません。この世界の悪循環は終わらないのでしょうか。

ぼくにできることは、小さなことしかできません。でも 「どうぞのいす」の世界も、一匹のうさぎから始まりました。この世界の「どうぞのいす」は こわされたり、もっていかれたりして なかなかどうぞの気持ちは伝わらないかもしれません。それでも、あきらめずの、「どうぞのいす」をおきつづけたいです。そうすれば、いつか くまみたいに分かってくれる人が現れいすの上にはちみつをおいていってくれると思います。少しずつこうして、「どうぞ」の気持ちを循環させていけば、この世界も平和になっていくと思います。